

# 道連ニュース

北海道生活協同組合連合会

〒003-0803 札幌市白石区菊水3条4丁目1-3

全労済北海道会館内

TEL 011-841-8601 FAX 011-841-8605

URL: <http://www.doren.coop>

## 医療と福祉の「まちづくり推進委員会」設立総会



「医療と福祉のまちづくり推進委員会」の設立総会が7月3日（水）、全労済北海道会館において開催された。この

「まちづくり推進委員会」は、札幌東部地区11,400坪の土地に北海道医療生協を移転新築し複合型福祉施設のまちを、協同組合と株式会社が「協同の力」で築き上げようという壮大な開発構想を前進させることを目的に設立したものです。

私たちは、超高齢化社会の課題に挑戦し「福祉と医療のまちづくり」という総合的な枠組みを設定して「医療、介護、福祉、高齢者住宅のサービス」を一体的に提供する次世代型タイプのまちづくりプロジェクトを進めてきました。その支援組織とし労福協や道退職者連合などのネットワークを生かした推進委員会を立ち上げ、全国に先駆けたモデル地区を目指していきます。

このまちづくり事業は国連が設定した「2012国際協同組合同年」のシンボル事業として取り組みたいとの思いで、2012年2月、道生協連・前川専務を団長とした8名の視察団を愛知県、南医療生協に派遣。医療と介護、健康をセットに多彩な事業展開を目のあたりにし、私たちの目指す「福祉と医療のまちづくり」プロジェクトに確信を得た視察となりました。全国的に類のない協同組合と株式会社が医療・介護・福祉のネットワークで連携した「夢のプロジェクト事業」が2016年の完成を目指してスタートします。

### 《医療と福祉のまちづくり概要》

医療生協の隣地に高層、低層のサービス付き高齢者住宅やミニスーパー、院外薬局など建設。敷地内には、入居者や患者が車いすでも森林浴ができる1,200坪の森林、機能回復リハビリの歩行コースにもなる1.2キロの公園型散策路が整備され、1,500坪の「広場」は軽スポーツや地域イベントの交流の場となり、災害時は緊急医療基地となり地域や入居者、患者を守る拠点となります。「医療生協を核とした複合型福祉のまち」が実現した姿は威厳性、整然性、快適性、森林、散策路の美しさなど訪れる人々を圧倒し魅了する事でしょう。

### くらしと協同の研究所

## 第21回総会記念シンポジウム報告

6月29日「生協は現代の『経営危機』を克服できるか」というテーマでシンポジウムが行われました。初めに佛教大学名誉教授でくらしと協同の研究所研究委員の浜岡政好氏による「研究所20年、これまでとこれから～生協の“経営危機”をめぐる」という基調報告がありました。

「くらしを守るだけではなくて積極的によりよいくらしを作り出していくためにはどうしたらよいかを考え調査、研究をする場として「くらしと協同の研究所」は発足したが、発足時の1993年から生協の経営危機と切り離せない状況にあり、眼前の危機に必死に対応してきた。またこの危機意識こそが原動力とも推進力ともなった。この間組合員の暮らしの少人数化、単身世帯化など家族形態の変化や、女性の就労など生活スタイルの変化、低価格への要求などに生協は応えられているか。コープこうべは震災から、組合員のためにということを生かした地域社会への貢献やコミュニティ作りの大切さを強く自覚した。今求められているのはグローバルな競争的環境の下で協同組合としての優位性を生かした新たなビジネスモデルの構築である。貧

困が「協同」を破壊している面もあるが、「協同」の力による貧困の防止、生活の回復、新しい暮らし方に見える化していく必要がある。安心できる地域社会の構築に向けて、地域の人々の生協・協同組合への期待にどう応えるか。生協組合員は自分たちの暮らしの現状を危機として捉えているか、社会運動論的視点を再生し、長期的な研究計画を持って取り組んでいきたい。」と話されました。シンポジウムは佛教大学の鈴木勉氏をコーディネーターに、三重大大学の豊福裕二氏、同志社大学の庄司俊作氏の研究報告とコープあいち理事長の夏目有人氏、おおさかパルコープ副理事長の池晶平氏の実践報告がありました。



基調報告する浜岡氏

## コープさっぽろ・北海道医療生協 共同企画「健康セミナー」の開催

昨年に続き、今年も組合員さまのすこやかな暮らしを応援する「健康セミナー」をコープさっぽろと北海道医療生活協同組合が協力して組合員の皆さまに病気に関するセミナーを開催します。

### 第1回目

テーマ:「プラセンタ療法について」

—胎盤埋没療法は万能薬か—

講師:北海道医療生協理事長兼札幌緑愛病院院長 羽二生 輝樹

日時:2013年8月24日(土)10時00分～11時30分

場所:清田区民センター

### 第2回目

テーマ:「心臓と運動・リハビリについて」

—心臓病があっても動いていいの?—

講師:札幌緑愛病院副院長兼心臓リハビリセンター所長 秋野 正敏

日時:2013年10月19日(土)10時00分～11時30分

場所:清田区平岡地区会館



さっぽろ高齢者  
福祉生活協同組合

## 第8回通常総会 開催報告

平成25年6月15日、午前10時より札幌市東区民センターにて、第8回通常総会が開催されました。組合員総数1124名のうち、647名(本人出席49名・書面議決書による出席594名・委任状による出席4名)と、過半数の出席により本会は成立しました。



議長、議事運営委員、資格審査委員、議事録署名人を選任した後、各議案の提案が行われました。

◎第1号議案「2012年度事業報告承認の件」

◎第2号議案「2012年度決算報告及び剰余金処分案承認の件」

◎監査報告

◎第3号議案「2013年度事業計画承認の件」

◎第4号議案「2013年度予算案承認の件」

◎第5号議案「2013年度役員報酬案承認の件」

◎第6号議案「定款一部改定承認の件」

◎第7号議案「定款第49条第2項で定める出資額等の範囲の件」

◎第8号議案「議案決議効力発生の件」

一括して質疑応答の後、各議案ごとに採択を行い、議長が議場採決と共に書面議決による承認と合わせ圧倒的多数により承認可決されたと認めました。

## 北海道電力生活協同組合

### 『取り巻く環境が厳しい中、組合員の生活向上を念頭に安定した事業継続に向け』

北海道電力生活協同組合の「2013年度通常総代会」を6月13日(木)、東京ドームホテル札幌で開催しました。

今総代会出席者数は総代定数121名中、出席総代117名、委任状出席3名でした。

議案は、「2012年度事業報告、決算報告、監査報告に関する件」、「2012年度剰余金処分に関する件」、「2013年度事業計画および収支予算に関する件」、「役員報酬額に関する件」等、全6議案を提案・審議し、全議案とも承認されました。第6号議案の「役員補充に関する件」では、理事8名、監事1名の役員交代が承認されました。

東日本大震災以降、当生協組合員を取り巻く環境は厳しいものとなっておりますが、このような時期だからこそ、生協事業にとって最も大切な組合員の生活と可処分所得の実質的な向上を念頭に置き、スケールメ

リットを生かした廉価で安心・安全な商品・サービスの提供に努めるとともに、消費生活協同組合法をはじめ本組合の事業に関連する法令改正や事業環境の変化にも適切に対応し、安定した事業運営の継続に向けて努力していく所存です。



総代117名が出席し、全議案が承認された2013年度通常総代会